

令和4年12月23日

東京都立新宿高等学校 進路指導部

- 模試の結果(1・2年)返却
- 3年生の冬季休業以降の学習について
- 大学入学共通テスト 迫る
- 大学入学共通テスト 自己採点 等々

1年を振り返り、新たな決意を

進路指導部

今年も残すところわずかになってしまいました。カレンダーを眺め、あと1週間で2022年が終わるという事実に改めて気づき、驚かされます。(生徒の皆さんは実感を持つことはできないでしょうが、21世紀になって既に20年以上が経ったことにも驚かされます。) 日常を取り戻しつつある世の中ではありますが、それでもコロナ禍で思い通りにならないこともまだまだ多くあります。そのような状況の中で、頑張ったことやしっかりとできたこと、また反対に怠けてしまったことやできなかったこと、いろいろとあるでしょう。今年1年が、皆さんにとってどんな年だったのか、この機会に振り返って冷静に自分を見つめ、来年のさらなる飛躍に是非ともつなげてください。

1年次生の皆さんは、昨年の今頃はまだ中学生で、高校受験を目前に控えて必死に勉強していたことでしょう。その甲斐あって、みごと新宿高校に合格。大きな希望を胸に入学してきたはずです。コロナ禍による不安や、入学前に予想していたこととは違うところもあったでしょう。また、思いもよらなかった出会いや新たな刺激も沢山あったことでしょう。入学時の決意を忘れることなく、今も学校生活に勉強に、全力を注いでいるのでしょうか。1年次生は、実は高校生活の1/4をもう過ぎ終えたことになります。この冬休みは、これまでの9ヶ月間とこれからのあり方を考える有意義な時間にしてください。「初心忘るべからず」(世阿弥)です。

2年次生の皆さんは、学校行事でも部活動でも、中心学年となった1年間でした。一方で責任や役割が大きくなり、一方でさまざまなことがこれまでとは違い、大変だったことでしょう。これまでの経験を自身の力として、さあ、この先にあるのは3年0学期。この時期の重要性については、この「—進路部通信— 新宿通信」でも触れてきました(前号参照)。今が切り替えの時です。今年度中にクリアしておくべき課題を明らかにして、この冬休みから計画的に取り組み、ベストの状態最終学年に進級しましょう。学力伸長の土台となる基礎的事項が備わっていないと、実践的な学習をやっていっても身に付いていきません。まずは確かな基礎力を自分のものにしておきましょう。

そして3年次生。いよいよ追い込みです。実力を遺憾なく発揮できるよう、まずは、感染予防・体調管理に万全を期してください。4月には人生の新しいステージが待っています。「つらいときには、4月に自分はどこにいるのか、そこにいる自分を何度も思い描いた」と先輩が合格体験記に書いています。現役生は受験本番のその試験中でも、まだ成長し続ける伸びしろを持っています。それが君たちの強みです。意志あるところに道は開ける。目の前のことを、優先順位の高いものから順番にやっていきましょう。思い通りにならないことがあってもあまりくよくよせず、大きく構えることも必要です。現役生は、どんなにやってもまだやり残しがあるのが当たり前なのです。「これまで頑張った、だから大丈夫」と自分を信じて、少し気持ちを楽にして、これからの期間を乗り切ってください。君たちが前を向き続けている限り、私たちも出来る全力で支えていきます。

○模試の結果（1・2年）返却

11月に実施した模擬試験の結果が出て、各自に返却されました。全体的な傾向としては、1年生は7月の模試と比べ、国数英3教科の平均偏差値は1.3ポイントダウン、2年生は0.8ポイントダウンとなりました。過去の学年の同じ時期の模試結果と比較してみると、ほぼ同程度です。難易度が上がっているこの時期の模試の結果としては、頑張っていると捉えてもよいのではないかと考えます。

もちろんこれらは平均値の話であって、個々の生徒を見るとさまざまです。自分の結果を各自でしっかりと受け止め、客観的に分析して今後につなげていくことが大切です。

模試で確認してほしいのは、学習の理解に不足はなかったか、それを修正するチャンスを逃していなかったか、普段の学習を自己管理できていたか…これらの自己教育力が身に付いているかということです。そうした一人一人の省察の上に、本当の意味での学校全体の活気や雰囲気が生まれまします。皆さんの個々の取り組みの結果として、新宿高校の集団としての力をさらに伸ばしていきましょう。よりよい個人がよりよい集団を作り、集団としてのよりよい環境が個人をよりよく成長させてくれるのです。皆さんが所属するクラスや部活の雰囲気はどうか？ 学習の質を高めたり目標に向かっていこうとする雰囲気はできていますか？ 教室や自分の部屋などの環境はきれいに整っていますか？ 今一度見直してみましょう。

○3年生の冬季休業以降の学習について

多くの方のご尽力により、3年生は年末年始も含めて、冬季休業期間に自習室を利用できるようになりました。自習室を利用する人もそうでない人も同様ですが、冬季休業中の過ごし方、その間の学習計画の立て方、そしていかに自分自身をコントロールできるかが重要になります。まずは部屋の片づけをすることから。学習環境を整え、情報を整理して、集中できる環境を作りましょう。

長いと思える時間も、過ごしてみるとあっという間です。時間を有効に使えるように計画を立てて取り組みましょう。

大部分の3年生にとっては、目前に迫った大学入学共通テストの対策がこの冬季休業中の最大の課題となるでしょう。しかし、共通テストは受験本番の最初の一步であって、そこから受験は続いていくことを忘れないでください。国公立大にしても、私立大にしても、それぞれの大学によって問題の傾向に違いがあります。積極的に過去問の演習に取り組むことによって、大学別の対策を十分に行っておくことが大切です。共通テスト後も見据えて、この冬季休業を充実させてください。なお、3学期に教科担当の先生に個別指導をお願いする場合は、どのように予定するか、早めに相談に伺いましょう。また、共通テスト終了後の1月17日（火）～19（木）には、冬期特別講習が実施されます。国公立大二次試験や私大の入試に向けて切り替えていく上で、有効な講習です。十分に利用しましょう。

○大学入学共通テスト 迫る

12月21日（水）・22日（木）と、3年生は共通テストシミュレーションを行いました。2日間にわたる本番さながらのシミュレーションはどうでしたか？ 共通テストは朝早くからの長丁場です。当日の時間に合わせて起きて、自分の頭がしっかり働くように慣らしておきましょう。

大学入学共通テストの受験票も手元に届いています。受験教科・科目の種類によって、試験会場が割り振られているようです。自分の受験票で試験会場を確認してください。受験票には当日に何かあった場合に備えて、試験会場の連絡先電話番号が記載されています。万が一、不慮の事態が生じた場合にも対応できるよう、保護者の方にもその電話番号を伝えておきましょう。また、冬休み中に会場の下見をしておくことをお勧めします。会場までの経路を確認し、もし電車の遅延などがあっても十分に間に合うよう、時間に余裕をもって向かう計画を立てておいてください。

受験票と一緒に「受験上の注意」という冊子が配布されました。冊子右上に「重要」と書かれているように、とても大切な冊子です。新型コロナウイルス感染症対策についての記載もあります。「健康観察記録」の記入なども指示されています。既に手元にある「受験案内」ともども、冬休み中に冊子を熟読してください。

大学入学共通テスト当日も、この「受験上の注意」を会場まで持参することになっています。学校に予備はありません。紛失することのないよう、記名しておきましょう。

どんなに必死で勉強しても、当日余裕をもって会場に到着し、落ち着いて受験できなければ実力は発揮できません。そのためには、日頃の規則正しい生活と入念な準備が不可欠です。

○大学入学共通テスト 自己採点

大学入学共通テストの翌日＝1月16日（月）は、共通テストリサーチを記入・提出する日です。全員1時間目から登校してください。WEB方式の答案再現型共通テスト分析などを使って、各自で事前に自己採点を丁寧に行い、間違いのない数字を手元に準備しておいてください。自己採点した結果を指定の用紙に記入してもらいます。提出された用紙は、その日の昼過ぎには河合塾と駿台ベネッセにそれぞれ提出します。毎年、全国の高等学校で同じ作業が行われています。各予備校はこのデータを集計し、どの大学にどの程度の志望者が集まっているか、合格可能性はどのくらいかを判定してくれます。リサーチの結果は19日（木）には届けられます。この結果を踏まえて国公立大2次の出願を最終決定します。なお、16日（月）の作業は午前中には終わります。

○共通テストチャレンジ

1/18（水）実施（1・2年生）

共通テスト同日模試と言ったり、共通テストチャレンジと言ったり…呼び方はさまざまです。つまりは、2年生と1年生を対象に、大学入学共通テストの当日または数日遅れで、共通テストと全

く同じ問題を解き、どの程度できるかを確認するものです。1/18（水）に英語・数学・国語の3教科について実施します。

ねらいの一つは、本番の試験を実感することによって今後の学習のモチベーションアップにつなげることです。1年後、あるいは2年後の自分の姿をイメージしながら、今示せる全力で取り組んでください。

もう一つのねらいは、現在の学習到達度の確認です。共通テストは出題のほとんどが教科書レベルの内容です。1年次、あるいは2年次で学習が終わっている科目なら、8割の得点が十分可能なはず。どのくらい得点できたかで、自分の学習状況を確認しましょう。

共通テストチャレンジは、1・2年生とも全員受験です。今の自分の実力を試す貴重な機会であり、自身の目指すレベルを体感する機会でもあります。受験後の自己採点や見直しも含め、しっかり取り組みましょう。



【今後の予定】

- 冬休み 12/24(土)～1/9(月)
- 3年 登校日 1/6(金)
- 始業式・特別考査(1・2年) 1/10(火)
- 自宅学習(3年) 1/13(金)
- 共通テスト(3年) 1/14(土)・15(日)
- 共通テストリサーチ(3年) 1/16(月)
- 3年 冬期特別講習 1/17(火)～19(木)
- 共通テストチャレンジ(1・2年) 1/18(水)
- マラソン大会 1/20(金)
- 午前授業(40分)・大掃除 1/25(水)
- 都立高校推薦入試 1/26(木)・27(金) **立入禁止**

切磋琢磨

株式会社三菱UFJ銀行 トランザクションバンキング部
50回生 深堀 愛子

小3の息子の夢はプロ野球選手になることだ。地域の野球チームに入って毎日頑張っているが、親の私はど素人、本人も特段光り輝く運動神経があるわけでもない。でも、私はその夢を全力で応援している。

「将来なにになる？」そんなことを高校時代に話していたことをたまに思い出す。

みんなそれぞれ思いを語っていたが、当時、経済に興味があった私の夢は「日銀総裁」だった。女性初の日銀総裁を狙っていた。

今思えば、ずいぶん大きく出たなと自分でも笑ってしまう。大人になると、そう冷静になることもあるが、高校時代、どんな大きな夢でも、みんな当たり前のように語り合い、叶えることができるものだと思っていた。

7、8年前だろうか、同窓会があった。卒業以来の人もいれば、定期的に会っている人もいるし、この歳になると歩んでいる人生は、それぞれだ。月日というものを感じたものの、帰り道にふと「きっと私が今また大きな夢を掲げて熱く語ったとしても、みんな当たり前のように、頑張れ！と応援の声をかけてくるだろうな…」と、あの時と変わらないものを感じた。

当時、思い思いに語った夢は、無防備な若さによって肯定されていたのではなく、六中健児の魂、自主自律の精神、一人ひとりのもつ「未来を切り開く力」によって肯定されていたのだと、気が付いた。

自主自律とは、自分自身で考え、自分を律して行動し、責任を持つことだが、自分が決めたことに責任を持てる人は、他者に対して誠実さをもって受け入れることもできる。そして、その相手から受け入れられたことが自信となり、自分の決断にも自信が持てる。まさに切磋琢磨できる相手がいてこそ、光り輝くものであり、そんなことを無意識に新宿高校で学んでいたのだ。もちろん、当時はそんなこと気が付かなかったけれど。

だから、いま皆さんが新宿高校生、六中健児であること、それだけで、大きな夢を持って社会に出ていける基礎力は十分備わっているのです。これは大きな自信であり、財産です。

私自身について少し話をすると、高校卒業後、大学で経済学を学び、中央銀行の金融政策についての卒業論文を書き、銀行に就職して為替を扱うマーケットの世界で働いている。日本銀行だけでなく、各国の中央銀行の政策を予測・分析し、輸出入取引のある日本企業に情報を提供し、為替取引の注文を引き受ける仕事だ。

当時の「夢」から20年以上経ち、現在地は「日銀総裁」からは程遠いものの、ふとその夢を思い出すことができる場所で働いていることは、とても幸せなことだ。

仕事が忙しく、たまに弱音を吐く私に息子は言う「ママ、結果ばかり気にしないで、失敗しても、頑張っている、ということが大切なんだよ。」

六中健児の魂は、不思議と息子にも宿り、親子で切磋琢磨して、日々を過ごしている。

皆さんもどうぞ新宿高校で仲間と明るく楽しく自分の夢を切り開いていってください！

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)